

令和 2 年 1 0 月 2 9 日

新居浜市長 石川勝行 様

新居浜市長期総合計画審議会
会 長 東 潤 則 之

第六次新居浜市長期総合計画基本構想及び基本計画（案）
について（答申）（案）

令和元年 1 0 月 3 0 日付け新企総第 1 1 4 号で諮問のありました第六次新居浜市長期総合計画基本構想及び基本計画（案）につきまして、当審議会において慎重かつ活発に審議した結果、次のとおり答申いたします。

記

人口減少や少子高齢化の加速、情報通信技術の急速な進歩、頻発する大規模自然災害など、近年、行政に求められる課題は多様化、複雑化しており、地方自治体においては、限られた地域資源を有効に活用し、持続可能な行政運営を行うことが求められています。

また、計画策定期間中に発生した新型コロナウイルス感染症は、日本のみならず、世界中で蔓延しており、未だ終息時期が見通せない状況にあります。ウイズコロナ、アフターコロナの時代における「新たな日常」を構築し、市民活動や経済活動の活性化を図ることも行政における重要な役割であると認識いたしております。

こうした中、今回策定された第六次新居浜市長期総合計画基本構想及び基本計画（案）については、時代の潮流を踏まえ、また、市民ニーズを取り入れたものとなっており、計画内容については概ね適切であると認めるものでありますが、この計画がより一層実効性のあるものになりますよう、当審議会として以下の意見を付すことといたします。

今後におきましては、計画初年度となる令和 3 年度に向け、本計画をすみやかに策定するとともに、実施に際しては、当審議会の意見を十分に尊重し、計画の着実な推進を図られるよう要望いたします。

(計画全体に関する意見)

- 1 人口減少社会にあつて、新居浜市が輝き続けるには、市の強み（地政学的な優位性、歴史、自然、伝統工芸、習俗、企業、人物など）をPRすることと併せ、それらの強みが武器になるレベルにまで磨き上げることを、市がリードして進めていただきたい。
- 2 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、市民生活や企業活動に大きな影響がでており、事態の長期化も懸念されております。しかしながら、こうした状況においても、行政が市民や団体、企業等と連携し、コロナ禍における「新たな日常」を構築するとともに、創意工夫のもと、計画に掲げた成果指標等の達成に向け、着実に事業を推進していただきたい。
- 3 感染症拡大により、テレワークの活用を通じて、場所にとらわれず仕事ができるという認識が広まりつつあります。こうした動きは、多様な人材の活躍の場を広げ、地方移住の可能性を広げるものであり、首都圏において、地方移住の関心が高まっているこの機を捉え、本市への移住者を増やすため、サテライトオフィスの設置やテレワーク環境の整備などにより一層注力していただきたい。
- 4 「類似都市と比較した本市の特徴的な指標一覧」では、人口・世帯、就業状況、産業構造、市民生活など様々な分野において、類似都市と比較した本市の特徴（強み、弱み）が整理されており、これらの客観的なデータについては、シティプロモーション活動の中で、しっかりとPRするとともに、今後10年間における施策検討においても十分に活用していただきたい。
- 5 本市の財政状況については、現状においては比較的健全であるものの、社会保障費の増大、公共施設の老朽化などの諸問題を踏まえると、引き続き、行政自らが不断の行政改革を行い、無駄の排除や効率化等により、スリムな行政となるように努力されたい。また、事業の実施に当たっても、その必要性や効果効率性を見極め、今以上に事業の選択と集中を行うことで無駄を省き、今後も財政の健全性を確保されたい。

- 6 将来都市像として掲げている「一豊かな心で幸せつむぐ一人が輝くあかがねのまち にはま」については、豊かな自然や別子銅山の産業遺産に包まれて暮らす幸せを実感しながら、誰もがいきいきと輝き、暮らすことができるまちを次の世代に引き継ごうというメッセージが表れていますが、市民はもちろんのこと、市外の人にも、「あかがねのまち 新居浜」が定着するようPRしていただきたい。

- 7 第六次新居浜市長期総合計画においては、施策ごとに関連するSDGsの目標が記載されているほか、「施策の体系とSDGsの関係」として、各施策とSDGsの目標の対応一覧表が掲載されています。こうした情報を広く市内企業や市民団体等と共有することで、SDGsの達成を意識した官民連携による取組を推進していただきたい。

(まちづくりの目標に対する意見)

(まちづくりの目標1)

- 1 子育て支援の中でも、より負担の大きい、多子（多胎児）家庭支援について重点的に取り組んでいただきたい。

(まちづくりの目標5)

- 2 施策5-6 男女共同参画社会の形成の中での、「男女」という表現・概念について、別の記載方法がないか、中間見直しの際に検討していただきたい。

(計画の推進)

- 3 市の魅力を高め、移住者を増やすための取組として、公民館や公園以外に気軽に人が集える場所（サードプレイス）を市内に増やしてほしい。

(計画の推進)

- 4 第六次新居浜市長期総合計画における最重要課題は人口減少問題への対応であるため、施策7-1「人口減少対策とシティブランド戦略の推進」については、より積極的に取り組んでいただきたい。また将来都市像に含まれる「あかがねのまち」についても、もっと前面に打ち出していきたい。

(計画の推進)

- 5 本市への移住を促進するため、観光資源をPRするだけでなく、日常の中にある自然の豊かさや憩いの場所など、地域の細やかな魅力を発信していただきたい。

(計画の推進)

- 6 本市への大学誘致は、若者の定住促進、地域活性化につながるため、様々な機会を捉え、誘致に向けた働きかけを行っていただきたい。

(計画の推進)

- 7 市職員の働き方改革の一環として、男性職員の育児休暇取得が進むよう取組を進めていただきたい。

(その他の意見)

- 1 第六次新居浜市長期総合計画は、今後10年間のまちづくりの方向性を定める非常に重要な計画であることから、より多くの市民に読んでもらえるよう、写真やイラストを取り入れた、読みやすい冊子を心がけ、広報も工夫をしていただきたい。
- 2 成果指標は、計画の達成度を具体的に判断する重要な指標であることから、適正な項目、目標水準の設定をお願いしたい。
- 3 様々な行政分野における課題について、ICTを活用することで、実現・解決できないかを考え、実践していただきたい。これらの活動を通じ、情報化のスキルやマインドが培われ、次代の新居浜市の強みになると思料される。